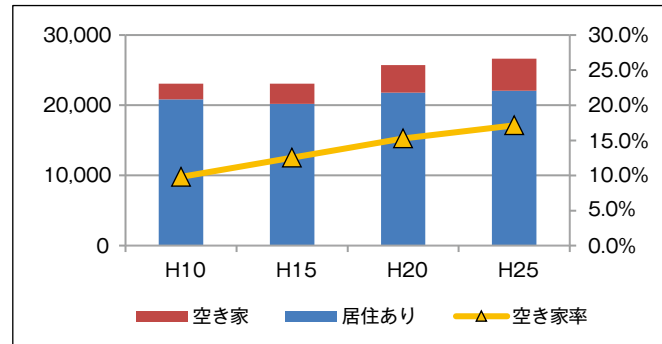


空き家バンクが始まります

空き家ってどのくらいあるの？

平成25年の住宅土地統計調査によると、市内の空き家数は4,560戸で住宅総数の約17パーセントを占めています。うち売買や賃貸を目的としていない空き家は、2,580戸で住宅総数の約10パーセントとなっています。空き家は増加傾向にあり今後も増え続けることが予想されます。



空き家を放置するとどうなるの？

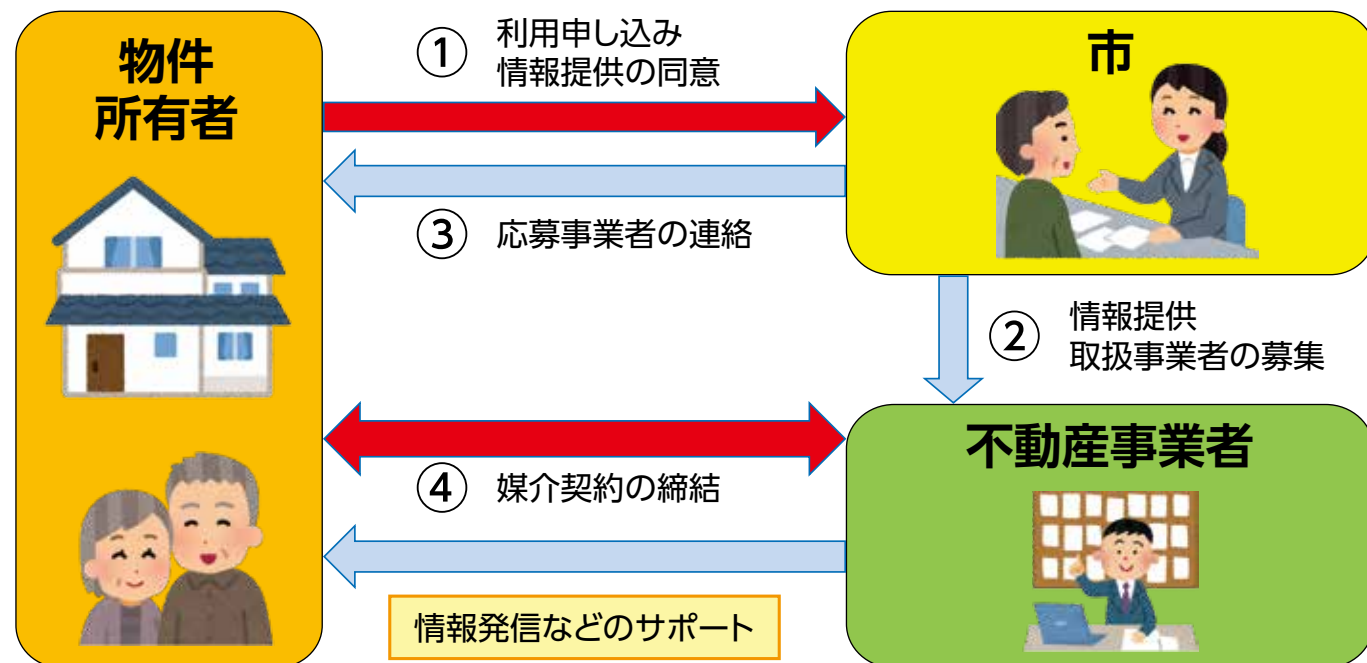
適切に管理せずに放置すると、草木の繁茂や老朽化による屋根や壁の破損などで周辺に迷惑がかかる恐れがあります。また、行政措置の対象となることもあります。



空き家バンクって何？

空き家の流通を促進することで空き家の老朽化を予防し、移住定住の促進につなげる制度です。空き家バンクは、売買や賃貸を希望する所有者から提供を受けた**情報を市内の不動産事業者**に提供し、**不動産の専門サイト（※）に掲載**することで、広く**物件の情報発信**を行う制度です。その他不動産事業者によるサポートを受けることができます。

※不動産の専門サイト…「福岡県空き家バンク」または「ラビーネット不動産」



※物件の調査により「流通の見込みがない」と判断された場合は、情報の掲載はできません。
※利用するための要件など詳細については、市ホームページ>ホーム>くらし>住宅(移住・定住)をご覧ください。(ホーム画面でサイト内検索もできます)

問い合わせ…企画経営課企画経営係 (TEL 25- 2230)

教育長が代わりました



田岡洋一教育長が退任

教育長を1期3年務めた田岡洋一さん(65)が、任期満了により12月12日に退任しました。

田岡前教育長は、小中一貫教育の推進として、小中教員の連携による学習指導の充実への取り組みや、中学校給食開始などの成果を上げました。また、教育環境改善のために、小中学校の普通教室へのエアコン設置やトイレの洋式化に取り組みなど、直方の教育活動に尽力しました。

新教育長に

豊嶋慎司さんが就任

12月13日、新しい教育長に、市議会の同意を得て市長が任命した豊嶋慎司さん(61)が就任しました。豊嶋教育長は、直方第一中学校長や市教育委員会管理主事などを歴任し、37年余りにわたり教育現場および教育行政に携わってきました。

就任にあたって「生まれ育った直方に恩返しするつもりで、責任を持って頑張りたい。学力や体力が全国・県平均を下回っていることや給食の喫食率が50パーセントに満たないことを課題と感じている。まずは現場に足を運んで課題解決に取り組みたい」と挨拶しました。



写真家 鋤田正義さんが市に写真を寄贈

11月22日、市民栄誉賞を受賞した写真家の鋤田正義さん(80)が、新たに撮影した写真を市に寄贈しました。

この4月に開かれた谷尾美術館での個展のオープニングイベントは、地元の人たちによる「直方日若踊り」。古町商店街内の鋤田さんの生家近くで姪(姉の娘)が日若踊りの衣装を着ているのを見て、自身の写真家人生の原点となった、母を撮った写真と同じ構図で撮ろうと思いつき、撮影した一枚です。

左のモノクロ写真のタイトルは『母 1957』。鋤田さんの母が日若踊りに向かう直前をとらえたもので、4月に撮影した右のカラー写真のタイトルは『姪 2018』。寄贈された作品はその二枚を並べて配置し、額装したものです。鋤田さんは「市民栄誉賞をいただくという事で、ちょっとしたイメージだと思い、今日に間に合わせるために急いでプリントした。同じ構図だけど、母は白黒、孫(姪)は現代を表すためにカラーにした。直方ならではの写真です」と説明しました。

壬生市長は「笠で顔は隠れているが、お二人のあごのラインがそっくりですね。普段から人目に触れる機会の多い場所に、ぜひ飾らせていただきたいと思います」と応じました。

